

# 公の施設の使用料・減免等に関するアンケート

以下のQ 1～Q 5の質問に対し、当てはまるものにチェック（☑）を入れてご回答ください。

## Q 1 ご回答いただく方について、当てはまるものをお選びください。

### ①年代

10代以下・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上

### ②お住まいの地域

合併前上越市（住居表示が●●区以外）・安塚区・浦川原区・大島区・牧区・柿崎区・大潟区・頸城区・吉川区・中郷区・板倉区・清里区・三和区・名立区・上越市外

## Q 2 今回利用する施設について、当てはまるものをお選びください。また、（ ）内には具体的な内容を記入してください。また、今回施設を利用せずに回答いただく方は、この1年間で最もよく利用した有料施設（減免での利用施設を含みます）の状況等について、回答してください。

### ①利用施設の名称：（ ）

### ②利用施設の利用頻度

週2回以上、週1回程度、月1～3回程度、年に数回程度、ほとんど利用しない※  
(※「ほとんど利用しない」を選択した場合はQ 4へお進みください。)

### ③利用施設までの主な移動手段：車・公共交通・自転車・徒歩・その他（ ）

### ④利用施設までの移動にかかる時間：（ ）分

### ⑤利用施設の使用料の減免利用：減免あり・減免なし・わからない

### ⑥利用施設の利用目的

会議や打ち合わせ・イベントや大会・練習・講座・その他（ ）

### ⑦団体・個人利用の別

地域コミュニティ組織（町内会、子ども会等）

青少年のスポーツクラブ（学校の部活動以外）

スポーツ以外の青少年のクラブ（学校の部活動以外）

学校の部活動

成人の趣味のサークルや同好会

営利営業を目的とする企業活動

その他の団体（ ）

個人

**Q3 利用施設（今回施設を利用せずにご回答いただく方は、この1年間で最もよく利用した有料施設（減免での利用施設を含みます））の減免前の使用料の水準をどう思いますか。当てはまるものをお選びください。【参考資料★6をご覧の上でご回答ください】**

- ①高い ②ちょうどよい ③安い ④わからない

**Q4 地域振興やスポーツの振興等を目的として、施設の利用目的に応じ、使用料を免除・減額する減免制度を設けており、令和6年度の減免額は約2.1億円です。現在の減免制度についてどう思いますか。今後の方向性として適切と思うものについて、ア～エのそれぞれにお答えください。【参考資料★5、★7をご覧の上でご回答ください】**

現在の減免の取扱い（最大）		今後の方向性（それぞれ1つお選びください）
ア 町内会・こども会・老人会等の利用	全額を免除	<input type="checkbox"/> ①全額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ②半額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ③利用者負担なし <input type="checkbox"/> ④その他（□ 25%負担 □75%負担）
イ 小中学生のスポーツ・文化系クラブの利用	全額を免除	<input type="checkbox"/> ①全額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ②半額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ③利用者負担なし <input type="checkbox"/> ④その他（□ 25%負担 □75%負担）
ウ 成人のスポーツクラブ等の利用	半額を減額	<input type="checkbox"/> ①全額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ②半額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ③利用者負担なし <input type="checkbox"/> ④その他（□ 25%負担 □75%負担）
エ 大会や各種講座のための利用	半額を減額	<input type="checkbox"/> ①全額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ②半額を利用者負担 <input type="checkbox"/> ③利用者負担なし <input type="checkbox"/> ④その他（□ 25%負担 □75%負担）

**Q5 施設の老朽化が進み、施設の維持管理には多額の経費がかかっており、今後も予算が限られている中、経費の縮減や収入の増加が必要です。具体的に今後どのような取組が必要だと思いますか。当てはまるものすべてお選びください。【参考資料★1～★5、★8をご覧の上でご回答ください】**

- 使用料の値上げ
- 冷暖房やガス、照明など、個別にかかる経費を新たに徴収
- 減免の縮小による収入の増加（利用者（団体）の負担増）
- 税金で負担し不足分をまかない、利用者の負担を下げる（値上げはしない）
- 利用実態に合わせた開館時間の縮小、休館日の拡大、予約制（予約がない場合は閉館）、無人化（利用者に鍵を貸し出し開錠・施錠を自ら行う等）など、効率的な管理による経費の縮減
- 必要最小限の修繕や清掃回数の縮小などの取組による経費の縮減
- 同じ機能で複数ある施設を集約する（一部施設の廃止を含む）ことによる経費の縮減
- その他（ ）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。